

法人名

株式会社大阪鶴見フラワーセンター

修正前

## ○令和元年度の経営目標達成状況及び令和2年度目標設定表

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (H31~H35)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績[見込]			R2目標	最終年度目標		
③ 市場活性化の取組み	消費拡大のためのイベント、ワークショップ等の開催、支援		回	10	12	20	↓ 12	10	-	-	消費拡大のため、市場関係者のみならず商業施設等の異業種と連携してイベント等を開催していく	卸売業者に限らず他の市場関係者や、商業施設とも連携したイベントやワークショップの開催支援する
					20							
	市場関係者が産地等と連携して行う展示会・商談会の開催等		回	5	(11)	15	↓ 10	5	-	-	産地等と買受人との情報交換の場を提供していく	リニューアルした展示コーナー等を活用して、展示会・商談会を行うことにより、買受人の購買意欲を高め、消費拡大につなげていく
				15								
	新規買受人の獲得		人	15	(19)	15	↓ 15	15	-	-	買受人総数が減少しているが、意欲のある新規買受人の獲得し花の消費拡大を図る	登録している買受人数が減少している中で、魅力ある市場機能の向上に努め、新規買受人を獲得する
					18							
④ 施設改修	経営状況を勘案した施設改修		百万円	10	-	127	↓ 80	10	-	-	資産増加額+修繕費(ただし、借入金により対応したものは、その償還額を含む)	経営状況を勘案して、減価償却費+修繕費の範囲内で計画的な施設改修と設備投資を行う ・防火シャッター更新 ・セリ室照明更新 ・1階送風機設置工事
						127						
⑤ CS調査	花き小売業者を対象とした不満足度		%	10	17	16	13	10	-	-	CS調査の不満足度が高く、かつ法人が早急に取り組める項目から優先的に対策を実施することにより、元年度より1%削減を目指す。	・館内放送の改善 ・車の入場規制・誘導方法、市場内物流の改善 ・掲示機能の充実
						14						
III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)												
② 環境に対する負荷の軽減	廃棄物の再資源化率 (再資源廃棄物(トン) / 廃棄物総量(トン))		%	10	(72)	73	74	10	-	-	分別を徹底する等、廃棄物の再資源化率を高めていく	花き包装容器等の廃容器などを大量に排出することから、環境に対する負荷の軽減に向けて取り組んでいく。
						73						

・☆はR2からの新規項目

・×は目標値未達成

・↓は前年度実績比マイナスの目標値

・( )は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

修正後

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (H31~H35)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績[見込]			R2目標	最終年度目標		
③ 市場活性化の取組み	消費拡大のためのイベント、ワークショップ等の開催、支援		回	10	12	20 20	↓ 12	10	-	-	消費拡大のため、市場関係者のみならず商業施設等の異業種と連携してイベント等を開催していく	卸売業者に限らず他の市場関係者や、商業施設とも連携したイベントやワークショップの開催支援する
	市場関係者が産地等と連携して行う展示会・商談会の開催等		回	5	(11)	15 15	↓ 10	5	-	-	産地等と買受人との情報交換の場を提供していく	リニューアルした展示コーナー等を活用して、展示会・商談会を行うことにより、買受人の購買意欲を高め、消費拡大につなげていく
	新規買受人の獲得		人	15	(19)	15 18	↓ 18	15	-	-	買受人総数が減少しているが、意欲のある新規買受人の獲得し花の消費拡大を図る	登録している買受人数が減少している中で、魅力ある市場機能の向上に努め、新規買受人を獲得する
④ 施設改修	経営状況を勘案した施設改修		百万円	10	-	127 127	↓ 80	10	-	-	資産増加額+修繕費(ただし、借入金により対応したものは、その償還額を含む)	経営状況を勘案して、減価償却費+修繕費の範囲内で計画的な施設改修と設備投資を行う ・防火シャッター更新 ・セリ室照明更新 ・1階送風機設置工事
⑤ CS調査	花き小売業者を対象とした不満足度		%	10	17	16 14	13	10	-	-	CS調査の不満足度が高く、かつ法人が早急に取り組める項目から優先的に対策を実施することにより、元年度より1%削減を目指す。	・館内放送の改善 ・車の入場規制・誘導方法、市場内物流の改善 ・掲示機能の充実

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 環境に対する負荷の軽減	廃棄物の再資源化率		%	10	(72)	73	74	10	-	-	分別を徹底する等、廃棄物の再資源化率を高めていく	花き包装容器等の廃容器などを大量に排出することから、環境に対する負荷の軽減に向けて取り組んでいく。
	(再資源廃棄物(トン) / 廃棄物総量(トン))					73						

・☆はR2からの新規項目

・×は目標値未達成

・↓は前年度実績比マイナスの目標値

・( )は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値